

議 事 一 覧

(1)各務原市緑の現況について(資料2)

(2)市民アンケートの結果について(資料3)

(3)緑の基本方針(国)について(資料4)

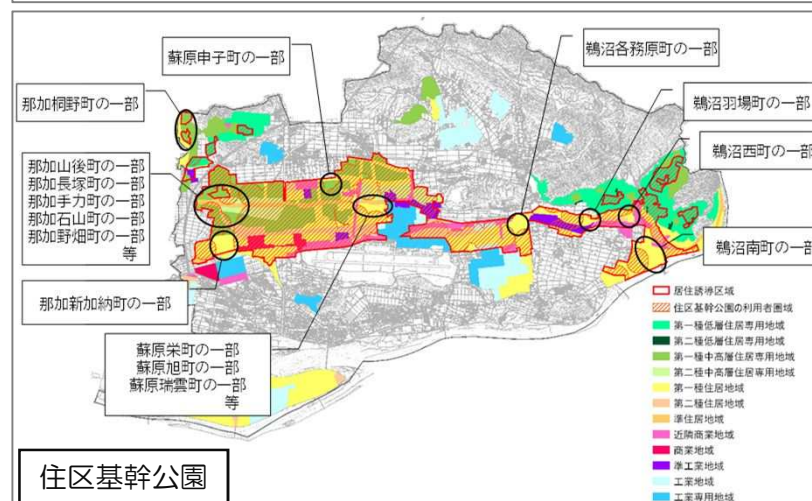
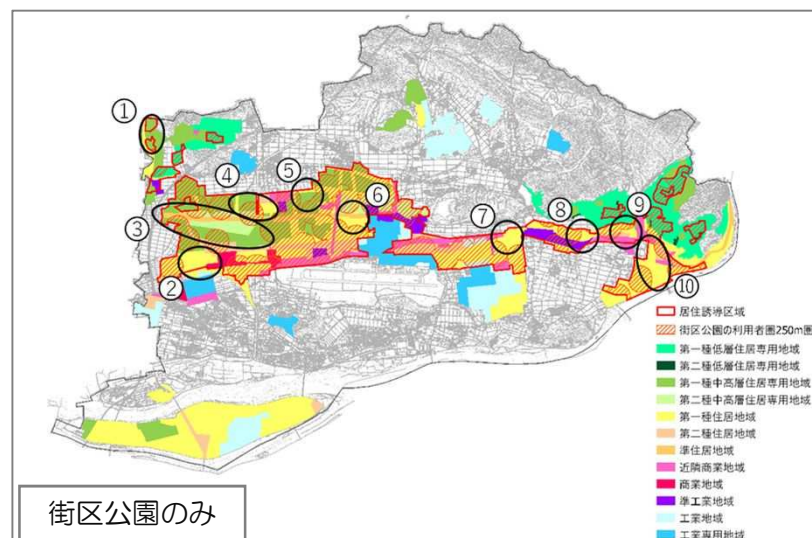
(4)緑の基本方針(市)について(資料5)

(1)各務原市緑の現況について

資料2

■用途地域(居住誘導区域)と街区公園における人口カバー率のクロス分析

- 街区公園のカバー圏域
- ⇒地区の一部においてカバーできていない区域が確認(①~⑩)
- ※街区公園のカバー圏域は半径250m圏域
- 居住誘導区域内における街区公園のカバー圏域の人口カバー率は、65.9%
- ⇒居住誘導区域内でもカバーできていない区域が存在
- 街区公園に近隣公園、地区公園を含めた住区基幹公園カバー圏域図と比較
- ⇒那加地区においては一部で、地区公園(市民公園・学びの森)によりカバーされている



地区区分	No.	地区名
那加地区	①	那加桐野町
	②	那加新加納町
		那加日吉町
		那加宮浦町
		那加西野町
	③	那加山後町
		那加長塚町
		那加石山町
		那加野畑町
		那加新田町
蘇原地区	④	那加東垂町
		那加前洞新町
		那加前野町
		那加中下町
鵜沼地区	⑤	蘇原山子町
	⑥	蘇原新栄町
		蘇原旭町
		蘇原菊園町
		蘇原栄町
		蘇原瑞雲町
	⑦	鵜沼各務原町
	⑧	鵜沼羽場町
	⑨	鵜沼羽場町
	⑩	鵜沼東町
		鵜沼山崎町
		鵜沼南町

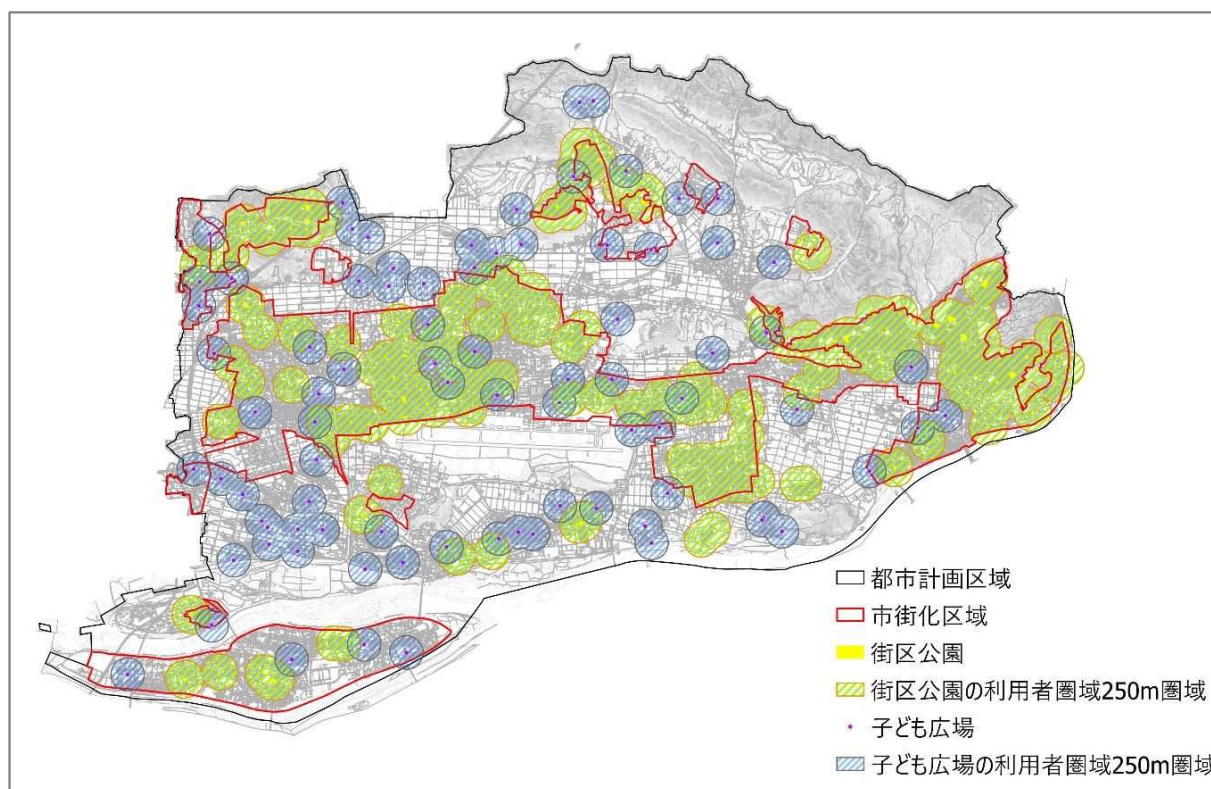
居住誘導区域内人口	公園種別	居住誘導区域内公園数	公園カバー人口	人口カバー率
75,808人 (R2.10月時点)	街区公園	68	49,965人	65.9%
	住区基幹公園	71	57,422人	75.7%

(1)各務原市緑の現況について

資料2

■街区公園(子ども広場も含める)における人口カバー率

- 街区公園に加えて、自治会管理の子ども広場83箇所もあわせて人口カバー率を算出
- ※街区公園のカバー圏域は半径250m圏域
- 市全域(都市計画区域)の人口カバー率は72.8%。
- 市街化調区域の人口カバー率は60.8%。
- 特に、市街化調整区域では、子ども広場が53ヶ所設置されおり、人口の約40%をカバーしている。



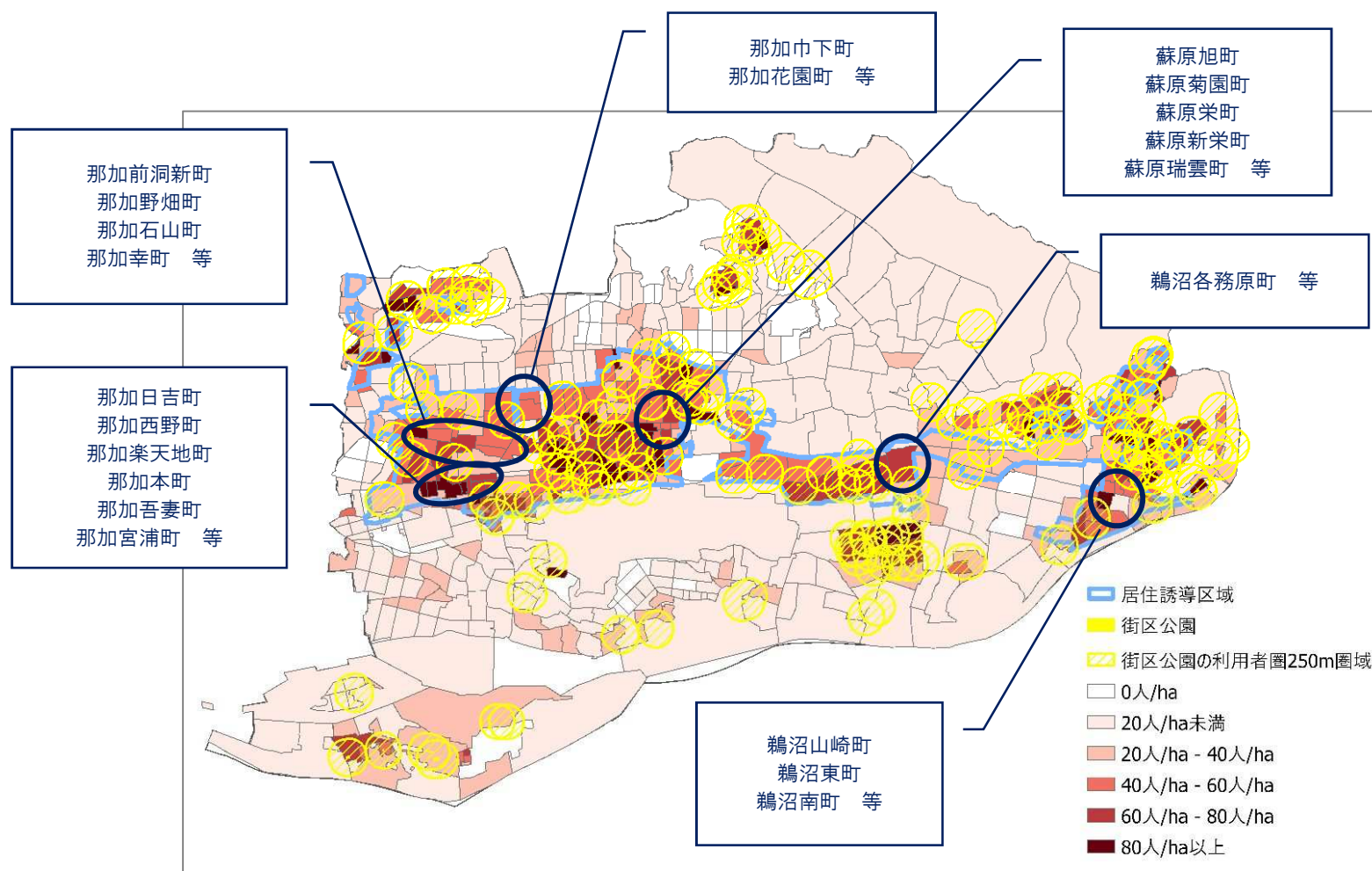
	公園種別	区域内公園数	公園カバー人口	人口カバー率
都市計画区域人口 144,521人	街区公園	154ヶ所	85,495人	59.2%
	子ども広場	83ヶ所	32,349人	22.4%
	街区公園+子ども広場	243ヶ所	105,194人	72.8%
市街化区域人口 117,573人	街区公園	144ヶ所	78,536人	66.8%
	子ども広場	30ヶ所	21,442人	18.2%
	街区公園+子ども広場	174ヶ所	88,811人	75.5%
市街化調整区域人口 26,948人	街区公園	10ヶ所	6,959人	25.8%
	子ども広場	53ヶ所	10,907人	40.5%
	街区公園+子ども広場	69ヶ所	16,383人	60.8%

(1)各務原市緑の現況について

資料2

■公園カバー圏域と人口密度のクロス分析

- 居住誘導区域内の人口密度が高い地域(人口密度40人/ha以上)でも街区公園のカバー圏域(半径250m)から外れている地域が6箇所ある

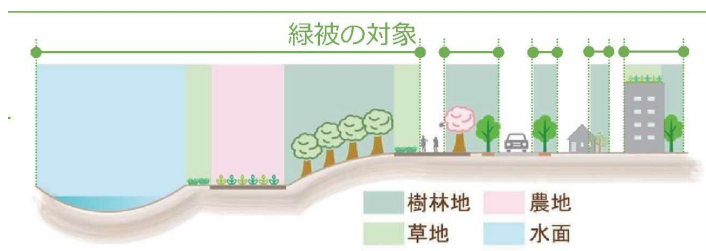


(1)各務原市緑の現況について

資料2

■緑被率と用途地域のクロス分析

- 第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種低層住居専用地域、第一種住居地域、準工業地域の順に緑被率が高い
- 一方で住居系の用途地域である第二種低層住居専用地域、第二種住居地域、準住居地域の緑被率は比較的低い
- 商業系・工業系用途地域
- ⇒全体的に緑被率が低い
- ⇒商業系・工業系用途地域の緑化により市街化区域全体の緑被率を底上げできる可能性あり



用途地域	用途地域面積(ha)	緑被面積(ha)	全体緑被率
第一種低層住居専用地域	347.1	80.4	23.2%
第二種低層住居専用地域	4.7	0.3	7.4%
第一種中高層住居専用地域	511.7	183.9	35.9%
第二種中高層住居専用地域	99.7	26.5	26.6%
第一種住居地域	951.1	208.2	21.9%
第二種住居地域	155.3	25.1	16.2%
準住居地域	76.7	13.1	17.2%
近隣商業地域	162.7	9.9	6.1%
商業地域	46.1	3.6	7.8%
準工業地域	75.9	15.8	20.8%
工業地域	266.9	36.1	13.5%
工業専用地域	205.4	13.5	6.6%
合計	2903.3	616.5	21.2%

(1)各務原市緑の現況について

資料2

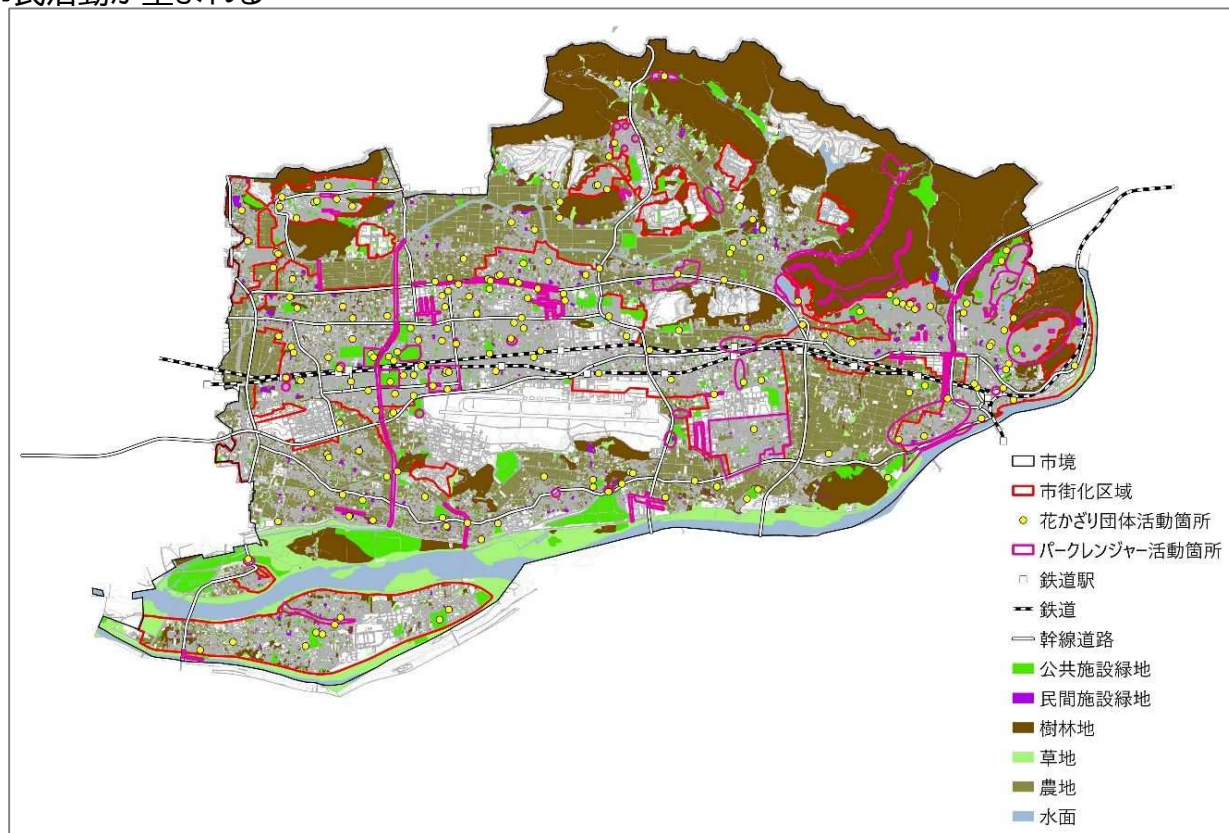
■市民活動と施設緑地のクロス分析

【パークレンジャー活動】

- 市内の広範囲にわたって活動が行われている⇒活動エリアは幹線道路沿道や河川沿い、苧ヶ瀬池周辺、山間部、都市公園等で活動内容也多岐にわたる

【花かざり団体活動】

- 市内の広範囲で活動されている⇒田畑や公園等の緑とは異なり、身近にある地域の社寺、公民館等への緑の創出が展開されており、継続的な市民活動が望まれる



施設緑地・・・農地や草地、樹林地、水面、公園等(公共施設緑地)、社寺林等(民間施設緑地)

(1)各務原市緑の現況について

資料2

■内水氾濫実績と住区基幹公園・緑被地のクロス分析

- ・ 内水氾濫は市街化区域において多く発生している(実績:平成20年8月28日～令和2年7月8日)
- ・ 雨水幹線・貯留施設の整備に加え、グリーンインフラとして保水機能を確保するため緑地の保全が求められ、ハード・ソフト両面で流域治水に取り組む必要がある。

